



# Cisco ISA 3000 産業用セキュリティアプライアンスの設置

この章では、Cisco ISA 3000 を正しく設置するために必要な機材と手順について説明します。

- [Cisco ISA 3000 に付属している品目](#) (1 ページ)
- [その他の必要な部品](#) (1 ページ)
- [イーサネット機器](#) (2 ページ)
- [Cisco ISA 3000 の設置](#) (2 ページ)

## Cisco ISA 3000 に付属している品目

梱包箱を開けて、納品書に記載されている Cisco ISA 3000 のすべての品目が揃っているかどうか確認してください。

次の品目がデバイスに付属しています。

- Product Document Of Compliance (PDOC) (製品番号 78-100733-01)
- 電源コネクタ X 2
- アラーム コネクタ

## その他の必要な部品

ルータを設置する際には、ルータの付属品以外に、次のものをご用意ください。

- 静電気防止用コードとリストストラップ。
- シャーシのアースに使用するワイヤ クリンパ。
- シャーシに接続するアース線。
- AWG 14 (2 mm<sup>2</sup>) 以上のアース線 (NEC 準拠シャーシアースの場合)。
- ギガビットイーサネットポートにデバイスを接続するためのイーサネットケーブル。

- ファイバ LAN ポート接続用の光ファイバ ケーブルおよび SFP トランシーバ。
- 最大 15 インチポンド (1.69 N-m) の圧力を加えられるラチェット トルク フラットヘッド ドライバ。
- No.2 プラス ドライバ。

## イーサネット機器

ルータと接続するイーサネット機器の種類 (ワークステーション、PC、ハブ、サーバ) を確認するとともに、その機器にイーサネット ポート接続用のネットワーク インターフェイス カード (NIC) があるかどうかを確認してください。

コンソール ポートからソフトウェアを設定する場合は、端末エミュレーション ソフトウェアが動作している ASCII 端末または PC をコンソール ポートに接続してください。

## Cisco ISA 3000 の設置

この項では、Cisco ISA 3000 の設置方法について説明します。このデバイスは卓上や、壁面または DIN レールに取り付けて他の水平面に設置できます。



**注意** デバイス周囲のエアフローが妨げられないようにする必要があります。デバイスの過熱を防止するには、少なくとも次のスペースを設ける必要があります。

- 上下 : 25 mm (1.0 インチ)  
露出面 (モジュールに接続されていない側) : 25 mm (1.0 インチ)
- 前面 : 25 mm (1.0 インチ)

デバイスを設置するときに、装置周辺の温度が 60°C (140°F) を超えないようにします。デバイスを産業用ラックに設置すると、ラック内の温度はラック外の室温よりも高くなります。

その他に次のガイドラインを考慮します。

- ケーブルがラジオ、電線、蛍光灯などの電気ノイズ源から離れていること。
- 装置がクラス 2 DC 電源だけに接続されていること。
- さらに高密度な配置が必要な場合には、シスコ TAC にお問い合わせください。

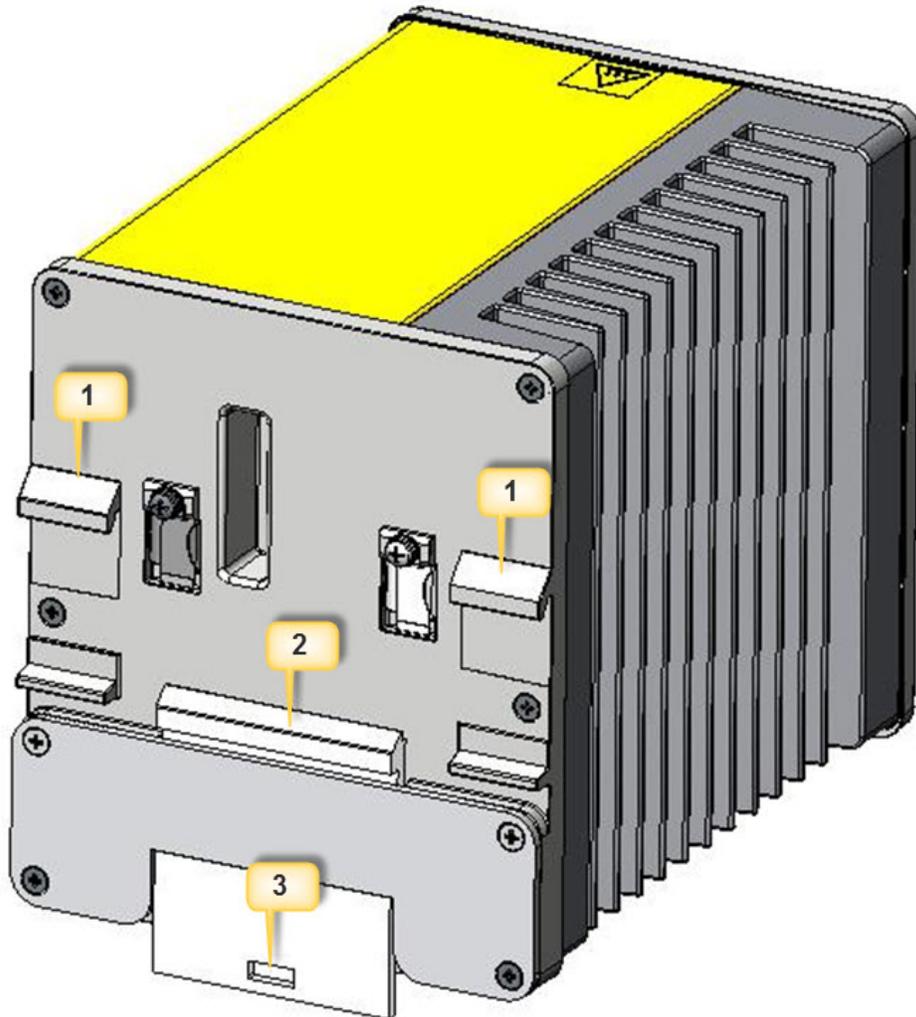
ここでは、次の内容について説明します。

## DIN レールの取り付け

Cisco ISA 3000 には 7.5 mm または 15 mm 厚の DIN レールを使用できます。取り付け面に DIN レールを約 7.8 インチ (200 mm) 間隔で固定し、終端アンカーを適切に使用します。

DIN レールへの取り付け用として、デバイスの背面パネルにはバネ付きのラッチが付属しています。次の図を参照してください。

図 1: ISA 3000 の背面 DIN マウント



注意 デバイスの上に他の機器を積み重ねないでください。

Cisco ISA 3000 を DIN レールに取り付けるには、次の手順に従います。

1. DIN レールがデバイス上部付近の 2 つのフックと底面付近のバネ付きラッチの間のスペースに収まることを確認し、DIN レールの前面に直接、デバイスの背面パネルを配置します。
2. DIN レールから離してデバイスの底面を持ち、デバイスの背面にある 2 つのフック (1) を DIN レールの一番上に掛けます。
3. DIN レールに向かってデバイスを押し付けると、デバイス底面後部のバネ付きラッチ (2) が下向きに移動し、はめ込まれます。

## DIN レールからのデバイスの取り外し

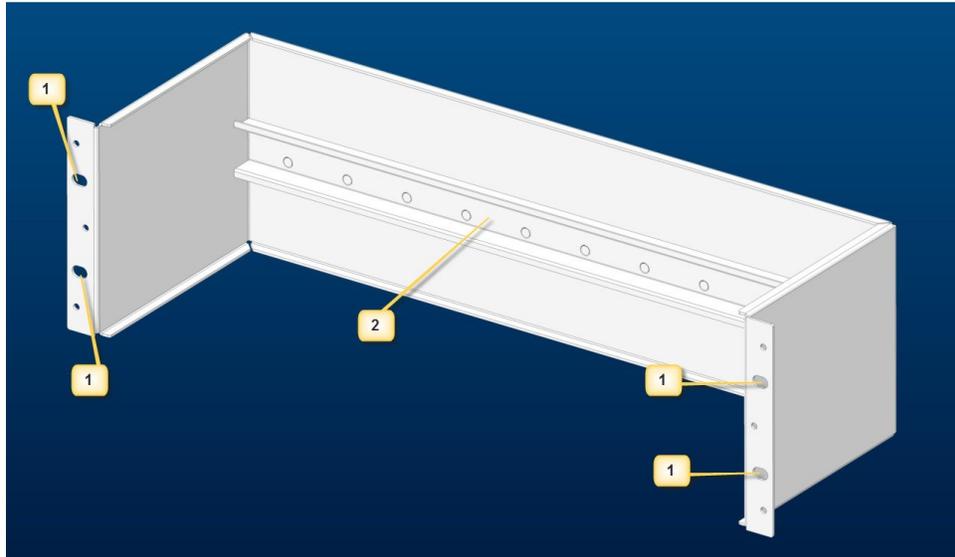
DIN レールからデバイスを取り外すには、次の手順に従います。

1. デバイスの電源が切断されたことを確認し、デバイスの前面パネルからすべてのケーブルおよびコネクタを取り外します。
2. フラットヘッドドライバなどをバネ付きラッチ下部のスロット (3) に挿入し、DIN レールからラッチを解除します。
3. デバイスの底部を引き下げ、DIN レールからフックを離します。
4. DIN レールからデバイスを取り外します。

## ラックへの ISA 3000 の取り付け

ISA 3000 は オプション キット 部品番号 STK-RACKMNT-2955 を取り付けした 19 インチ キャビネットまたはラックに設置できます。このキットにはブラケットと取り付けネジが含まれています。

図 2: 取り付けブラケット



キャビネットまたはラックに ISA 3000 を設置するには、次の手順を実行します。

1. キットに付属の 4 本の前面ネジを使用して、キャビネットまたはラックにブラケットを取り付けます。取り付け穴 (#1) にネジを入れます。
2. [DIN レールの取り付け \(3 ページ\)](#) の説明とほぼ同じ方法で、取り付けブラケット (#2) に取り付けられた DIN レールにデバイスを接続します。

## Cisco ISA 3000 のアース接続

必ずデバイスを適切なアースに接続してください。アース線は、地域の安全基準に従って取り付ける必要があります。

- NEC 準拠の接地では、14 AWG (2 mm<sup>2</sup>) 以上の銅線と、内径が 5 ~ 7 mm (1/4 インチ) のリング型端子を使用します。
- アースラグは、デバイスの付属品ではありません。1つのシングルリング端子または2つのシングルリング端子を使用できます。



**警告** この機器にはアース接続が必要です。一般的な使い方では、ホストとアースの接続に、グリーンとイエローの 14 ~ 16 AWG アース線を使用します。ステートメント 242



**警告** この装置は、接地させる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024

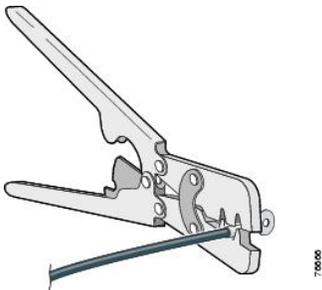


**警告** 装置を設置または交換する際は、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。ステートメント 1046

アース接続は次の手順で行います。

- ステップ 1** 標準のプラス ドライバまたはプラスのラチェット トルク ドライバを使用して、デバイスの前面パネルからアース ネジを取り外します。後で使用できるようにアース ネジを保管しておきます。
- ステップ 2** ワイヤストリッパを使用して、14 ~ 16 AWG のアース線を 5.56 mm (0.22 インチ) だけ剥がします。
- ステップ 3** ワイヤクリンパを使用してリング端子にアース線を圧着します。次の図を参照してください。

図 3: リング端子の圧着



- ステップ 4** 端子の穴にアース ネジを通します。
- ステップ 5** 前面パネルのアース ネジ用の開口部にアース ネジを差し込みます。
- ステップ 6** ステップ 1 でとっておいたネジセットを使用して、シャーシにリング端子を取り付けます。ラチェット トルク ドライバを使用して、デバイスの前面パネルにアース ネジとリング端子を 3.5 インチポンド (0.4 N-m) で締め付けます。次の図を参照してください。

図 4: アース位置



**ステップ 7** アース線の反対側の端を、確実にアースできる接地点に接続します。

---



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。